

第1回 新庁舎建設基本計画市民検討委員会 議事要旨

- 1 日時 平成29年11月29日(水) 14時00分から15時30分まで
- 2 場所 大村市役所 第8会議室
- 3 出席者 委員11名(欠席委員なし)
事務局 大村市財政部用地管財課新庁舎整備室
基本計画策定支援事業者((株)山下設計)

4 議事要旨

(1) 市長あいさつ

(2) 自己紹介(各委員及び事務局)

(3) 委員長及び副委員長の選出

宮原委員長(長崎総合科学大学名誉教授)

中村副委員長(大村商工会議所会頭)

(4) 委員会の設置趣旨等

ア 事務局説明の要旨

- ・本委員会は、「現庁舎」、「ポート第5駐車場」、「補助グラウンド」のいわゆる現地周辺の敷地を活用して新庁舎を建設するに当たり、新庁舎の基本的な考え方や必要な機能等について意見を聴き、基本計画に反映させたいということで設置するもの
- ・推進体制としては、内部の組織として「市庁舎建設検討委員会」がある。ここで、「市民アンケート」や本検討委員会の意見等を踏まえて案を作成する。
- ・建設スケジュールについては、市のホームページに掲載しているとおり、平成32年度(平成33年3月)までの完成を目指している。本会は今年度中に5回程度開催したいと考えている。

イ 質疑

委員:基本計画は来年5月まで、それから基本設計となるが、基本計画のフィードバックはこの委員会にあるのか。

事務局:本委員会は基本計画までである。今後、基本設計、実施設計となるが、そこに反映すべきことを基本計画で盛り込むことになる。

委員:今日の会議が1回目だが、ボリューム的に5回の開催で対応できるのか。

事務局:今回はお示ししていないが、今回は市民アンケートを集約したものと、それを踏まえた上での基本計画の基本方針や備えるべき機能等の素案をお示ししたい。厳しいスケジュールで時間が短いというのはあるが、よろしく願いしたい。

(5) 市庁舎の現況と課題、建替えの必要性

ア 事務局説明の要旨

- ・現庁舎の建築年数、庁舎の分散、耐震性の不足を説明するとともに、課題整理として大まかに次の5項目に整理して、その内容を説明

「老朽化・耐震性の不足による安全性」、「バリアフリー対応の不足」、「狭あい化による市民サービス機能の低下」、「高度情報化対応への限界」、「庁舎の分散化による市民サービス等の低下」

イ 質疑

委員：現庁舎の床面積はどれくらいか。また、新庁舎の床面積はどれくらいを考えているのか。

事務局：市が集約したいと考えている面積は、現行の面積で約 19,000 m²である。この面積には、執務室のほか会議室や廊下等の面積も含まれている。現在、調査・検討したデータを基に、必要面積の算出作業に取り組んでいる。

委員：建て替えることに反対するわけではないが、建て替えた後のメンテナンスが大切であるが、これまできちんとやっていない。その辺りを考慮した設計をやってほしい。

事務局：事前予防というかそれをすることによって長寿命化につながるという考えもある。今後検討していきたい。

委員：今回（1回目）の説明内容は、地区で説明された内容とあまり変わっていない。新庁舎を造るというのは決まっていることである。基本計画では、どういう段階まで検討するのか。何階建て、何m²とか、どういうホールをつくるのか、そういったものを盛り込んだ計画なのか。

事務局：今日が初めての会議で、全委員が地区の意見交換会等に参加されているわけではないので、共通の認識をとということで説明した。基本計画では、どういった市庁舎にしていくかの方向性や基本的な考え方を整理し、基本設計等につなげるものである。どの程度の規模、どのような機能を持たせるかなどについて協議し検討する。

委員：地区での説明は、大方終わっているのか。

事務局：経過としては、今年の2月に現地周辺で建設したいという方向性を示した。その後4月に市内8地区で市民の皆様からご意見をいただいた。そして、いただいたご意見も踏まえて6月議会で基本計画策定に要する予算を計上し可決され、7月の地区別ミーティングで庁舎建設の進め方について説明した。

委員：地区の説明会等で聞いた国からの財政支援は決定しているのか。

事務局：国の新たな制度が生まれたということで、この制度を活用できるように進めていくということである。これは補助金と違って、庁舎建設の財源として市の起債（借金）に対してこれを返済していくときに、地方交付税として交付されるものである。懸念するのは、今のところこの制度が32年度までということである。

委員：身体障害者からの意見として、従来のバリアフリーでなく、新しい発想でのバリアフリーを考えてほしい。例えば、「点字ブロック」について、ごつごつしたものでなく、最近全国的に採用されてきている「マット方式」というものがある。

委員：庁舎の裏側のボートの駐車場に建設するとしたら、一つの棟にする考えか。

事務局：どのような形にしたらよいかは今から検討する。コスト、維持管理費などいろいろなことを含めて良い方法を考えていきたい。

5 次回開催について

12月25日（月）予定